

「未来の夢計画」について

2012年2月19日

2011～12年度
ロータリー財団委員長
牛久保 哲男

国際ロータリーとR財団との関係

R I 会長

バネルジー会長



理事会 18名
近藤 雅臣 氏



ガバナー 531



ガバナー補佐



クラブ会長



ロータリー財団
管理委員会

財団管理委員長
ボイド委員長



管理委員 14名
小沢 一彦 氏

RRFC

財団コーディネーター

R財団の活動

寄付を集める活動

①年次寄付

毎年続ける1人100ドル

②恒久基金

元金は使わず収益の使う

③使途指定寄付

使い道を決めて使う

ポリオ・プラス 1人24ドル

クラブ財団委員会

寄付金を使う活動

①教育的プログラ

②人道的プログラム

ロータリーアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにする

財団の使命

奉仕プロジェクト委員会
社会奉仕委員
国際奉仕委員

地区ロータリー財団資金の推移

2840 地区 寄付実績

単位:ドル
2011.6.30

年次	年次寄付	使途指定寄付	恒久基金	総額
2000-01	236,814.30	33,005.67	10,959.00	280,778.97
2001-02	235,262.42	13,226.39	21,686.00	270,174.81
2002-03	210,865.67	99,468.88	7,385.48	317,720.03
2003-04	179,989.36	94,697.05	4,229.00	278,915.41
2004-05	174,313.66	122,220.47	33,841.00	330,375.13
2005-06	202,352.16	7,129.11	2,056.00	211,537.27
2006-07	225,797.08	932.20	8,133.98	234,863.26
2007-08	237,707.66	3,321.63	2,695.00	243,724.29
2008-09	241,236.01	36,441.07	17,945.00	295,622.08
2009-10	235,202.52	17,077.46	4,140.00	256,419.98
2010-11	234,501.10	32,025.74	5,522.00	272,048.84
合計	2414041.94	459,545.67	118,592.46	2,992,180.07

地区財団活動資金 (DDF)

2840地区
47クラブ
1907名

年次寄付
1人100ドル

恒久基金
2025年10億ドル

使途指定寄付
ポリオプラス
1人24ドル

ロータリー
財団
管理委員会

3年前の年次寄付
と
3年前の恒久基金
の運用益

国際財団活動資金
WF (50%)

シェア
ー
シ
ス
テ
ム

地区財団活動資金
DDF (50%)

未来の夢計画

- 時期: 2013～2014年度より実施
- 標語: 世界でよいことをしよう(Doing good in the world)
- パイロット地区: 2010～2011年度より実施
国内6地区(3年間)

理由: 1995年開始のマッチング・グラントが2000年までに1万件
2000～2004年の4年間で1万件 授与
2004～2008年の4年間で1万件 授与

◎大きな成果と長期的な持続が望めるプロジェクトを目指し
財団プロジェクトの簡素化のための方策

- 目的:
- ①プログラムと運営の簡素化
 - ②最大の成果が期待できる奉仕活動にしぼる
 - ③世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金提供
 - ④意志決算権を地区とクラブに移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分達のものであるという自覚を高めること
 - ⑤公共イメージを高める

年次寄付の使い方

DDF 50ドル

WF 50ドル

新地区補助金：
最大DDFの50%

グローバル補助金：
残りのDDF

寄贈

WFよりの
グローバル補助金
(DDF1に対し
WF1、現金1に対し
WF0.5)

その他の分野に
おける、

- ・奨学金
- ・VTT
(職業研修チーム)
- ・奉仕プロジェクト
(従来の地区
補助金)

6つの分野に
おける、

- ・奨学金
- ・VTT
(職業研修チーム)
- ・人道的プロジェクト

ポリオ・プラス
ロータリー平和
センター等

承認された人道的
プロジェクト

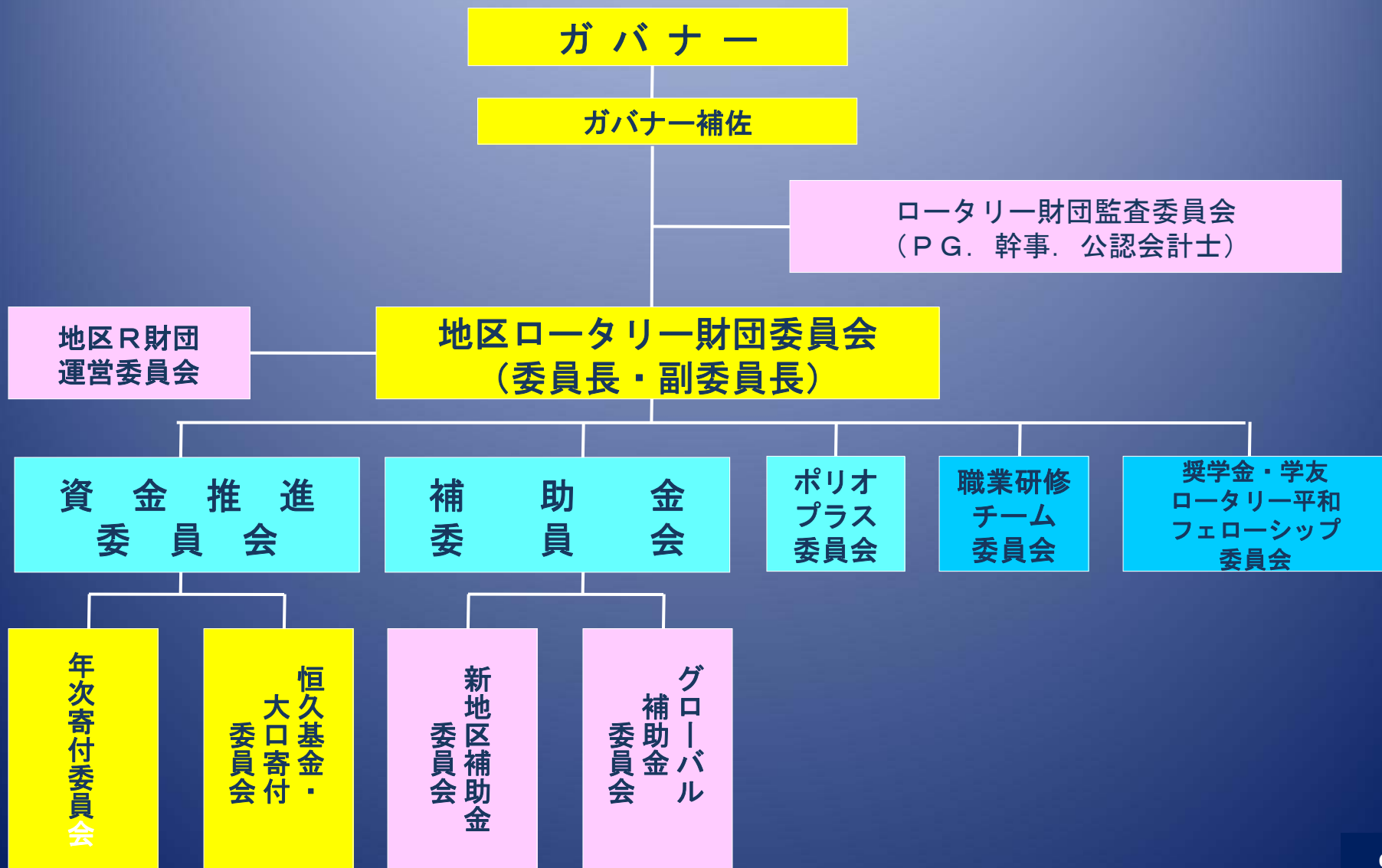
新地区補助金

1. 地区は年に1度、DDFの50%迄申請できる。用途は地区の裁量に委ねられる。
2. 1年以内の短期の活動資金に資金を配分すること。
人道的プロジェクトにも教育的プロジェクトにも、海外、国内、RCの有無
3. 新地区補助金の申請書を提出する「計画年度」と補助金が支給されプロジェクトが実施される「実施年度」の2年の業務サイクルが奨励されている。
4. 未使用の新地区補助金は財団に戻されDDFに返還される。

グローバル補助金

1. 6つの重点分野を支援するものであること。
 - ① 平和と紛争予防/紛争解決
 - ② 疾病予防と治療
 - ③ 水と衛生設備
 - ④ 母子の健康
 - ⑤ 基本的教育と識字率向上
 - ⑥ 経済と地域社会の発展
2. 地元社会に強いニーズと事業を推進する確固たる組織があること
3. 持続可能性のあるプロジェクトであること
4. 最低3万ドル以上のプロジェクトであること
(DDF1.5万ドル+WF1.5万ドル)
5. 申請は随時受け付けられる

2012 ~ 13 年度 (足田ガバナ一年度)
ロータリー財団委員会組織図



「未来の夢計画」移行スケジュール

2011～12年度

【安藤ガバナ一年度】

準備・説明年度

委員会・組織改正と
委員数の増員

2012～13年度

【疋田ガバナ一年度】

計画・申請年度

2013～14年度

【本田ガバナ一年度】

夢計画スタート

事業実施・報告年度

計画・申請年度

7/1

10/31

11/23

2/末

4/末

7/1

12/1

2/末

4/末

7/1

12/1

2/末

4/末

次年度 地区組織決定

ロータリー財団 セミナー出席

PETS 説明会

地区協説明会

安藤年度（プログラムを
実行）

本田年度（クラブ計画案を
作成）

本田年度（クラブ計画を
確定し地区に
申請）

本田年度（RI申請書提出
期限）

疋田年度（プログラムを
実行）

本田年度（プログラムを
実行）
（終了次第報告書提出）

※（補助金一括支給・7月～8月中）

次年度（クラブ計画案を
作成）

次年度（クラブ計画を
確定し地区に申請）

次年度地区組織決定

計画・申請・実施のタイムスケジュール



夢計画の実施に向かったの クラブ組織と委員会について

今までの財団委員会は
寄付を集めるだけで
奉仕活動の実行は社会奉仕、国際奉仕委員会
分断している

疋田年度の財団委員長は



夢計画の財団活動は
寄付を集める活動と、寄付
を使う活動とを一体で管理

クラブ組織の検討

財団委員長

任期3年

資金管理委員会

奉仕プロジェクト
社会奉仕委員会
国際奉仕委員会

2012－13年度 国際ロータリー財団目標

最優先目標：ポリオ撲滅

第2位： 「奉仕を通じて平和を」 のテーマの実現させる事。

第3位： 年次寄金を支援、強化

「毎年あなたも100ドルを」

昨年度達成は韓国、日本、カナダ、米国の4カ国

第4位： 未来の夢の成功のために、地区の資金管理
(地区による財団資金管理)

地区財団活動運営方針

1. 未来の夢計画の完全実施のための委員会活動の充実,
及びクラブでの新地区補助金の活用への支援
2. 年次寄付:1人100ドルの100%達成
3. 大口寄付者:3名
4. VTTプログラムの検討
5. 財団奨学生は今期は実施しない
(新地区補助金のクラブ活用を優先する)

今後のご協力を
お願いいたします
終了